

[ シンポジウム⑤ ]

7月1日(金) 9:00~10:30 (90分)

慢性期リハビリテーション～現状と展望～

急性期、慢性期、終末期とリハビリテーションは継続的に必要です。広く行われている回復期リハビリテーションは慢性期の選ばれた患者の短期集中的なリハビリテーションといえましょう。回復期リハの基準に入らない重篤な方、また、回復期リハ終了後の継続的なリハ等、慢性期をくくりとしたリハは極めて重要であると考えています。活発なご議論と提言を期待しています。

座長：石川 誠 (全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会会長)

シンポジスト：石川 誠 (全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会会長)

橋本康子 (日本慢性期医療協会リハ委員会委員長)

横串算敏 (札幌西円山病院副院長)

原田拓哉 (定山溪病院リハビリテーション部副部長・OT)